

研究課題名 多施設大規模脳磁図データによるてんかん研究

研究責任者 広島大学大学院医系科学研究科脳神経外科学 准教授 館岡 幸治

研究期間 2020年9月25日(倫理委員会承認後)～2025年3月31日

対象者

2000年1月から2022年2月の間に、広島大学病院脳神経外科で脳磁図検査を受けられた患者さん。

意義・目的

多施設から共有した脳磁図データを元に機械学習を用いた解析や様々なてんかん病態の解明を可能にします。脳磁図は頭皮脳波よりもより詳しく脳の活動を計測でき、より詳しく脳で何が起きているかが分かると考えられています。このため、主にてんかんの術前検査などを目的として計測がされています。しかし、計測されたデータは各施設でのみ解析されてきたことから、てんかん患者さんで決まった検査結果のパターンが見られても、広島大学のみで認めるパターンなのか日本全国で同じパターンが、一般的に見られるか確認することが難しかったです。最近ではこのパターンを見つけるのに人工知能が注目されています。特に、人工知能を用いた自動診断などでは、他の施設データでも使えることが必要ですが、これを検証するデータは今のところ存在しておりません。そこで本研究では、日本国内で脳磁図計測を行う主だった施設が共同して、脳磁図データを共有し、人工知能による自動診断やてんかん病態解明のための解析を行うことを目的としております。

方法

本研究は、脳磁図データ、診療録（カルテ）情報を調査して行います。

広島大学病院脳神経外科で募集している脳磁図データの共有と、てんかん診療を目的として

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

Tel : 082-257-5227

